

2022年9月3日

## 第84回素心会展に出展

2022年9月1日から5日、長谷部代表は、所属する素心会（神尾忠雄会長）展（会場アトリオン2F）に新作三点を出展しました。今回は秋田県内の心穏やかになる建築物をモチーフとし、『たかさごや』（高砂堂：秋田市通町）、『舞う』（旧料亭松下：秋田市千秋公園）、『時とまる』（如斯亭：秋田市旭川）の情景を描きました。

素心会は、1930年、武埜三山、田口松圃などの文人により設立された、県内最初の絵画団体です。現在は、医師、会社経営者、主婦など多様な会員構成で、水彩、油彩、刺繍などジャンルを超えたアートが出展されています。

長谷部代表の水彩画『巡航』をモチーフとした堀内規代会員の刺繍作品『海』や神尾会長の『戦後の保戸野小学校』、宮下正弘会員の『大きな木のある風景』は必見ものでした。



会場風景



堀内規代会員の刺繍作品



堀内規代会員と共に